

美術

1 学年：週 1 時間 2 学年：週 1 時間 3 学年（選択）：週 1 時間

■目標

- 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- ・造形的な視点について、理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。（知識及び技能）
 - ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
 - ・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う。（学びに向かう力、人間性等）

■学習内容

＜表現＞	・感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に、描いたり、つくったりする活動
	【具体的な内容】 ・主題を生み出す、構成の創意工夫、表現の構想、材料や用具の特性、表現方法の追求、自分らしさの発揮
＜鑑賞＞	・美術作品や生活の中の美術の働き、美術文化などの鑑賞の活動
	【具体的な内容】 ・造形的なよさや美しさ、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫、生活の中の美術や文化遺産、美術の働きや美術文化
＜共通事項＞	・上記項目の内容を通しての学習
	【具体的な内容】 ・形や色彩、材料や光などの働き、全体のイメージを捉える

■評価の方法

＜知識及び技能＞

- ・授業中の発言、様子
- ・ワークシートの記述、回答

＜思考力、判断力、表現力＞

- ・授業中の発言、様子
- ・ワークシートの記述、回答

＜学びに向かう力、人間性＞

- ・授業中の発言、様子
- ・自らの生活に生かそうとする態度

■生徒へのメッセージ

美術の基礎・基本を学びます。長期にわたって取り組むものと、短い期間にサッとつくるものがあります。美術を通して、造形的な見方や感じ方を働かせ、美術として楽しく取り組むことだけでなく、「態度」「意欲」「丁寧さ」「根気良さ」「工夫」「準備・後片付け」「道具の扱い」「安全」といった“仕事”につながる要素が含まれています。ものづくりをとおして技術や態度を学びつつ、制作する喜びや楽しさを味わい、心豊かに生活していく態度や豊かな心を育てていきます。